

# 奄美民謡の継承のネットワークに関する調査 及び歴史的録音のデジタル化

梁川英俊（多元地域文化コース教授）

アンニ（人文社会科学研究科 地域政策科学専攻 卒業生）

## 目的

- 奄美民謡の継承は、人的ネットワークによって支えられていることについて、**徳之島町井ノ川集落**で継承されている**夏目踊り**を中心に考察する。
- 引き続き民謡研究家・**久保けんおの島唄関係の録音資料をデジタル化**し、アーカイブ構築のための基礎作業を進める。

## 内容① 徳之島・奄美大島調査（2024年8月16日～8月20日、9月7日～9月8日）

- 徳之島町井ノ川集落の**夏目踊り**に参加した。  
リーダーの町田進氏に取材した。
- ハマオレ、ハマギノ**に参加した。  
関係者の保科文次氏・ご家族・本土在住の島出身者たちに取材した。
- 徳之島の三味線唄に関して、「**治井三味線教室**」や唄者・**中島清彦氏**と**泉サダ子氏**に取材した。
- 「**奄美十五夜唄あしび**」（奄美市立奄美博物館）に参加した。  
出演者の西和美、里朋樹に取材した。



<深夜の井ノ川夏目踊り>



<早朝の井ノ川夏目踊り>

## 内容② 久保けんお録音資料のデジタル化

●昨年度は久保の録音資料のうち、瀬戸内町郷土館所蔵のテープを中心にデジタル化を行ったが、**18本**のテープが未完了のまま残った。今年度は残りのテープをすべてをデジタル化し、さらに近現代センター所蔵のテープについてもデジタル化も進めたが、それでも余りが出たので、鹿児島大学国際島嶼教育研究センターのプロジェクト等に応募してデジタル化を進め、最終的に久保が所蔵していた**83本**の録音資料すべてのデジタル化を完了することができた。



久保録音資料



デジタル化した久保録音資料

## 成果

### ●学術的成果

#### <論文>

梁川英俊・アンニ「「歌掛け」と「歌遊び」」『鹿児島大学法文学部紀要 人文科学論集』第92号、pp.37-63 2025年2月

アンニ「奄美島唄における伝承形態と表現様式の変容に関する研究－島唄教室を中心にして－」（鹿児島大学大学院人文社会科学研究科 博士学位論文）

#### <書籍等出版物>

梁川英俊「豊穰の奄美」第2部「21世紀の奄美島唄－伝統から何を受け継ぐか？」『「鹿児島の近現代」教育研究センター 近現代センター通信』第4号、p. 2. 2023年3月

#### <講演・口頭発表>

梁川英俊「夏目踊りに参加して」シマウタ研究会オンライン報告会 2024年10月24日

アンニ「奄美島唄における伝承形態と表現様式の変容に関する研究－島唄教室を中心にして－」学位申請論文発表会 2025年2月15日

梁川英俊「民謡研究家・久保けんおの仕事について」鹿児島大学国際島嶼教育研究センター 第247回研究会 2025年4月21日

#### <メディア報道>

梁川英俊「久保けんおの声」南海日日新聞 2025年7月3日

### ●南日本の音楽文化に関する資料の充実

久保の録音資料のすべてのデジタル化が完了したことで、昨年度にデジタル化した小川学夫の録音資料と合わせて、本土と島嶼部からなる南日本の音楽文化のデジタルアーカイブ構築への基盤ができた。資料全体の分析は今後の宿題であるが、貴重な録音が多く、適切に分析・整理することによって、将来的に南日本の音楽文化を語る上で貴重な研究資料となることが期待される。